



国際園芸博覧会2016  
トルコ・アンタルヤ  
日本庭園出展報告書

はじめに	2
アンタルヤ国際園芸博覧会の概要	3
日本政府屋外出展の経緯	4
出展日本庭園の概要	5
出展日本庭園の概要	
日本とトルコの関係等の表現	
日本庭園等の紹介パネル	
日本庭園の整備及び維持管理	
アンタルヤの皆さんとの交流	
行催事	1 4
日本庭園 開園式	
ジャパンデー	
ジャパンフェスティバル	
ガーデンコンテスト	
日本庭園の寄贈	
日本庭園 閉園式	
運営関係	2 4
広報	
日本庭園来訪者へのアンケート	
博覧会会場	2 6
日本庭園	
日本政府屋内展示	
会場施設	
国際庭園	
日本庭園出展実行委員会	3 2
アンタルヤ市内	3 6



日本国政府は、これまでリバプール(英)、ハーグ・ズータメア(蘭)、昆明(中国)、ハールレマミア(蘭)、ロストック(独)、チェンマイ(泰)の国際園芸博覧会に参加し、日本庭園を屋外展示出展してきました。

このたびの国際園芸博覧会2016トルコ・アンタルヤには、国土交通省ならびに緑関係団体が実行委員会を構成し、枯山水の平庭を会場に造成しました。限られた4か月の整備工事期間における現地スタッフと日本から派遣された技術者の方々の献身的なご努力により完成し、6か月の開会期間中の緻密な管理により美しく維持された日本庭園は、入場者の皆様にも喜ばれ、ガーデンコンテストにおいて銀賞を頂くことができました。

閉会時には、日本政府からトルコ政府へこの日本庭園が寄贈され、日本庭園が継続的に良好に維持されるよう「日本庭園管理マニュアル」を博覧会協会事務局に贈呈しました。日本の自然風景の素晴らしさを象徴的に示し、わが国が誇る造園技術を紹介し、トルコとの友好関係を深めるという当初の目的を十分に達成することができたと思います。

地中海に臨むアンタルヤはリゾート地として著名な美しい街ですが、小アジア南東部の乾燥気候の影響も強く、夏の日中には40℃以上の日が続くため、人々は涼しくなる夜間に活動することが多いようです。会期中も夜間の方が入場者が多い日もあり、このため日本庭園では白砂敷や石組みに光を当て、砂紋や岩肌の微妙な美しさを楽しんでもらい好評を博しました。

会場周辺の間々に見られた植生は、オリーブなどの常緑硬葉樹林やモクマオウとマキの叢林で乾燥地域独特の景観を呈していました。文献によれば、そうした林床にはチューリップ、ラナンキュラス、シクラメンなどの原種がみられ、明るい開けた場所にはタチアオイが生育する園芸植物の宝庫です。会場内もそうしたトルコらしい植物景観や草花がみられ、多様性の高さを感じさせました。

乾燥地域の園芸博として、枯山水様式の日本庭園は会場の雰囲気にもなじみ、歴史、持続可能性というサブテーマにもふさわしい展示だったと思います。日本庭園出展実行委員会の皆様の惜しみないご協力に深く感謝申し上げる次第です。

2016年アンタルヤ国際園芸博覧会日本庭園出展実行委員会  
会長 輿水肇

## 1. 博覧会の名称及び性格

- ① 国際園芸博覧会2016 トルコ・アンタルヤ  
(International Horticultural Exposition: EXPO 2016 Antalya)
- ② 国際博覧会条約に基づく認定博覧会

## 2. メインテーマ 花と子供達 (Flowers and Children) ～将来世代のための緑豊かな暮らしを拓く (サブテーマ) 歴史、生物多様性、持続可能性、グリーンシティ

## 3. 開催地 トルコ共和国アンタルヤ県 県都アンタルヤ

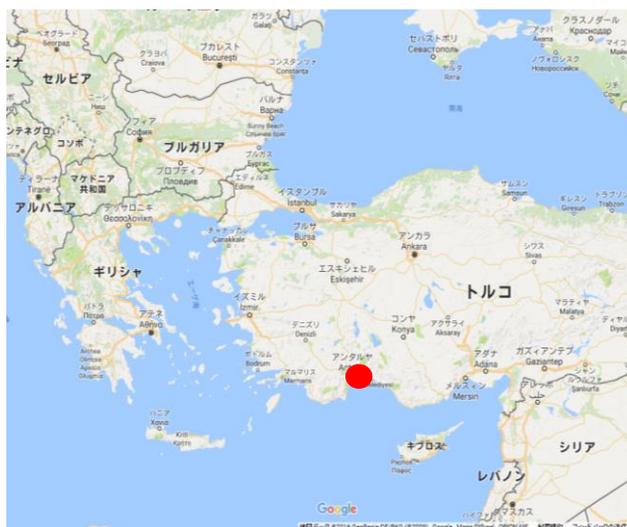
## 4. 会期 平成28(2016)年4月23日(土)～10月30日(日) (191日間) (開会時間:午前10時～午前2時)

## 5. 開催主体 2016年アンタルヤ博覧会協会

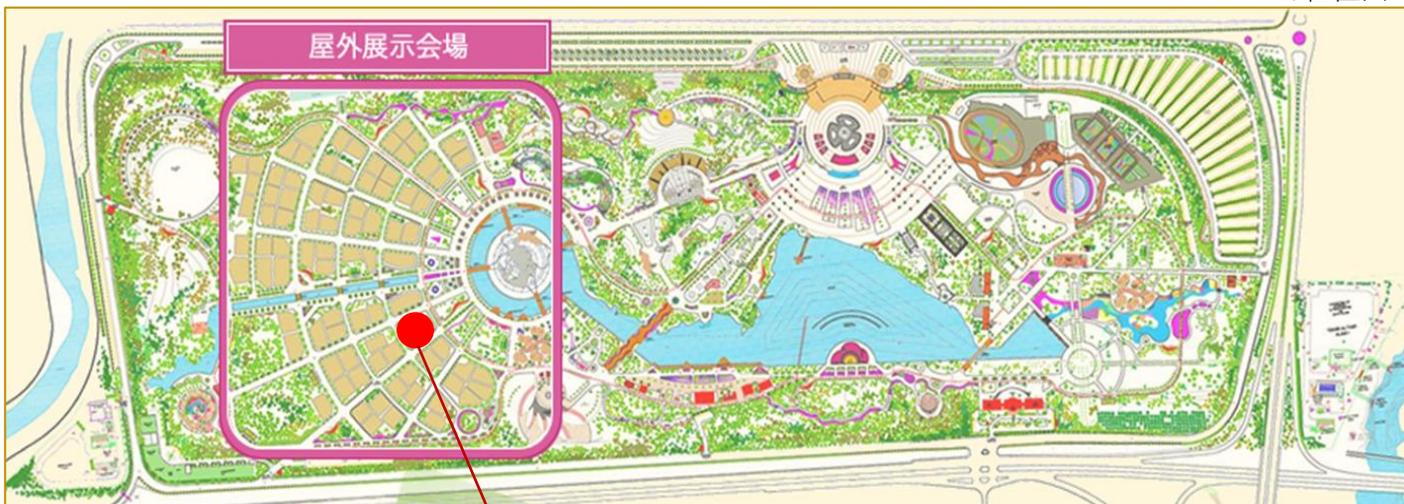
## 6. 会場規模 約112ヘクタール

## 7. 入場者数 約450万人

## 8. 参加国・地域 54の国と地域



アンタルヤ位置図



日本政府出展区域

博覧会会場図

# 日本政府屋外出展の経緯

アンタルヤ国際園芸博覧会への日本国政府屋外出展に関する主な経緯は、以下のとおりである。

平成26年 1月 トルコ共和国政府(食料・農業・畜産大臣)から日本国政府(農林水産大臣宛)に対する参加招請(農林水産大臣より、参加準備を進める旨の回答)  
平成27年 4月21日 日本国政府が公式参加することについての閣議了解

①担当省庁:農林水産省(幹事)、外務省、経済産業省、国土交通省

②参加理由

- 一. 本博覧会は、国際園芸家協会(AIPH)の最上位の博覧会であり、国際博覧会条約に基づく認定博覧会としても承認されていること。
- 二. 本博覧会における情報発信を通じ、トルコ及び中東地域をはじめ世界に向けた花きの輸出拡大、造園緑化技術の海外展開等が期待されること。
- 三. トルコ共和国と我が国は、長い友好の歴史を有するとともに、近年は首脳レベルの交流も緊密で、経済・文化交流促進の気運も高まっており、本博覧会に参加することは両国の良好な関係を一層強固にすること。

5月21日 日本国政府の屋外出展(日本庭園)を推進するため、「2016年アンタルヤ国際園芸博覧会日本庭園出展実行委員会(会長:興水肇 公益財団法人都市緑化機構理事長)」を設立  
第1回実行委員会を開催(於:都市緑化機構会議室)

6月22～26日 参加調整(出展区画の調整等)のため、国土交通省及び(公財)都市緑化機構から職員を現地に派遣

7月31日 在トルコ大使館 勝亦孝彦公使に対しアンタルヤ国際園芸博覧会における陳列区域政府委員としての日本政府代表の辞令が発出

8月24～30日 出展準備(現地調達材料等調査)のため(公財)都市緑化機構から職員を現地に派遣

9月14日 設計監修のための海外日本庭園委員会を開催(於:都市緑化機構会議室)

11月11日 第2回実行委員会を開催(於:都市緑化機構会議室)

12月 7日 日本国政府とアンタルヤ博覧会協会との間で、出展契約の締結

12月21日 工事着手

平成28年3月27～31日 出展準備状況の確認のため、国土交通省及び(公財)都市緑化機構から職員を現地に派遣

4月12日 第3回実行委員会を開催(於:高橋ビル会議室)

4月23日 博覧会開幕 日本庭園開園式

8月15日 在トルコ大使館 勝亦孝彦公使の後任の中村耕一郎公使に対しアンタルヤ国際園芸博覧会における陳列区域政府委員としての日本政府代表の辞令が発出

9月 7日 ジャパンデー

9月8～10日 ジャパンフェスティバル

10月29日 ガーデンコンテスト表彰式 日本庭園の寄贈

10月30日 博覧会閉幕 日本庭園閉園式

平成29年1月20日 第4回実行委員会を開催(於:高橋ビル会議室)

日本政府出展の日本庭園については、日本の文化を象徴し、日本庭園の作庭技術を駆使した日本らしさが実感できるようなものとするとともに、庭園の維持管理の簡素化の観点から、水の使用を最小限とする、枯山水の平庭とした。

設計にあたっては、海外日本庭園委員会(平成27年9月14日開催)の監修を得つつ、作業を進めた。

## アンタルヤ国際園芸博覧会出展庭園 設計説明

出展日本庭園は、基本的には枯山水の平庭とし、庭園南西(左手)側には主景を構成する龍門瀑を配し、そこから流れ出る川と内海、さらには外洋を、白砂敷と植栽により表現している。

庭園北側の入口部分の、松明垣や竹柵といった垣に囲まれ視界がさえぎられた通路を抜けると、眼前には、茶の湯の発達とともに露地庭で形式化し、桃山時代以降の庭園に好んで用いられた、蹲踞と鉢明かりの石灯籠といった添景物によって、庭園に詫びた趣を与え、自然の風景を象徴的に表した空間が広がる。

さらに先へ進むと庭園の主景である龍門瀑が目に見え込んでくる。龍門瀑の背景及び周辺は、常緑樹を中心とする高木、灌木の密な植栽を施した築山とし、これにより深山幽谷の趣を表現する。龍門瀑の前面には石橋などを配することにより里の風景を演出するとともに、深山幽谷から流れ出てくる川が内海へと注いでいく情景を、白砂敷と州浜、添景物(岬灯籠等)により醸し出す。海象風景については、日本とトルコの友好関係を語る上で欠かすことのできない「エルトゥールル号事件」の現場(和歌山県串本町檜野崎)を表現する。

亭舎東側へ歩みを進めると、内海から外洋にかけての風景を、起伏のある芝生地を大海に浮かぶ島々に、白砂敷を海洋面に、それぞれ見立てて表現した空間が広がる。亭舎南側の草地においては、トルコの草花を散りばめ、トルコの植生の華やかさを印象付けつつ、出口へと誘導する。また、芝生地及び白砂敷の形状については、イスタンブール周辺の地形をモチーフとして構成する。

主景を中心とした庭園西側の外周は、白壁を三方に配置し、外部と遮断された空間ということを主張する一方で、東側の外周は、灌木の植栽等により来訪者の侵入を抑止する程度とし、外部への広がり意識させる。

### 海外日本庭園委員会 委員名簿

委員長	涌井 史郎	東京都市大学教授
委員	鈴木 誠	東京農業大学教授
	井上 剛宏	造園家 (株)植芳造園代表取締役
	卯之原 昇	(一社)日本造園建設業協会 技術委員長
	川尻 幸由	(一社)ランドスケープコンサルタンツ協会専務理事
	細川 卓巳	(公財)東京都公園協会 公園事業部技術管理担当部長
	町田 誠	国土交通省都市局公園緑地・景観課緑地環境室長
	宮下 和正	(公財)都市緑化機構専務理事





日本庭園全景



日本庭園入口



日本庭園出口



主景を構成する龍門瀑



庭園西側の白砂敷



入口付近の松明垣



臥牛垣(臥龍垣)



侘びを表現する蹲踞・石灯籠



岬灯籠



庭園東側の白砂敷(野筋)



亭舎



外周壁(白壁)



花壇



協賛ボード

日本庭園の設計及び整備にあたっては、日本庭園の技法を活用しつつ、日本とトルコの友好関係やトルコの地形を抽象的に表現する工夫を凝らした。

### <東の太陽、西の新月>

石灯籠には三日月型の窓が、岬灯籠には丸型の窓がある灯籠を用いた。これは、日本とトルコ両国の関係を表わすのに用いられる「東の太陽、西の新月」にも通じるものである。



### <和歌山県串本町檜野崎>

日本とトルコ両国の友好関係の礎でもある「エルトゥールル号事件」の現場となった和歌山県串本町檜野崎の地象を、州浜・岬灯籠・白砂敷により表現した。

### <エルトゥールル号事件>

明治23(1890)年9月16日、オスマン帝国(現在のトルコ)が明治天皇に勲章を奉呈するために派遣した軍艦エルトゥールル号が、帰路に和歌山県大島村(現在の串本町)の紀伊大島檜野崎沖で暴風雨のため遭難し、約500名という多くの犠牲者を出した事件。

事故発生後に、檜野崎灯台付近に生存者が辿り着き、大島村の村民が総出で懸命な救難活動・介護を行ったほか、地方行政、中央政府、新聞社等が救済措置等を行った結果、69名がオスマン帝国に帰還することができた。

この一連の出来事は「エルトゥールル号事件」として、トルコ及び日本国内で伝えられてきており、昭和60(1985)年イラン・イラク戦争でのトルコ政府によるトルコ航空機を派遣してのテヘランからの日本国民の救出や、平成11(1999)年のトルコ大地震及び平成23(2011)年の東日本大震災における両国による救援・救助など、二国間の深い親交の礎となっている。

### <トルコの地形の表現>

庭園東側の野筋の区域では、トルコの地形を表現している。白砂を地中海に見立て、奥側をヨーロッパ(イスタンブール)側、手前側をトルコ側とした。また、野筋に据えた景石により、イスタンブールの代表的な建造物であるブルーモスクやトルコの代表的な観光地であるテキルダール、さらには博覧会開催地であるアンタルヤを表現した。



日本庭園の概要(歴史)、出展日本庭園の概要及び最近の日本における緑化事情(屋上緑化・壁面緑化等)を紹介するパネルを、亭舎の板壁に掲示し、来訪者に対する日本庭園の理解の促進と日本の緑化技術に関する情報発信を行った。

### Japon bahçesi şerhi

Description of Japanese Garden / 日本庭園の解説

**<Japon bahçesi nedir?>**  
 Japon bahçesi, doğanın güzelliklerini ve uyumunu, insanın doğayla olan ilişkisini ve yaşam tarzını yansıtan bir sanat formudur. Geleneksel olarak, bahçeler, su, taş, ağaçlar ve diğer doğal unsurların dikkatli bir şekilde seçilmesi ve yerleştirilmesiyle oluşturulmuştur.

**<What is a Japanese garden?>**  
 A Japanese garden is a form of art that reflects the beauty and harmony of nature, the relationship between humans and nature, and the way of life. Traditionally, gardens are created through the careful selection and placement of water, stone, trees, and other natural elements.

**<日本庭園とは？>**  
 日本庭園は、自然の美しさと調和、人間と自然の関係、そして生活様式を反映する芸術形式です。伝統的に、庭園は水、石、木、その他の自然要素の慎重な選択と配置によって作られます。

**<Sergilenen Japon bahçesi tanıtımı>**  
 Bu sergide, geleneksel Japon bahçesi türleri ve modern bahçelerdeki yenilikçi uygulamalar sergilenmektedir. Ziyaretçiler, bahçelerin tasarım prensiplerini ve estetik değerlerini yakından gözlemleyebilir.

**<Style of the exhibited Japanese garden>**  
 The exhibition features traditional Japanese garden styles and innovative applications in modern gardens. Visitors can observe the design principles and aesthetic values of the gardens up close.

**<出展日本庭園の様式について>**  
 この展示では、伝統的な日本庭園の様式と、現代庭園における革新的な応用が紹介されています。来場者は、庭園のデザイン原則と美的価値を詳しく観察することができます。

**<Sergilenen bahçenin yapısı>**  
 Sergilenen bahçenin yapısı, su, taş, ağaçlar ve diğer doğal unsurların dikkatli bir şekilde seçilmesi ve yerleştirilmesiyle oluşturulmuştur. Bahçelerin tasarım prensiplerini ve estetik değerlerini yakından gözlemleyebilirsiniz.

**<Structure of the exhibited garden>**  
 The structure of the exhibited garden is created through the careful selection and placement of water, stone, trees, and other natural elements. You can observe the design principles and aesthetic values of the gardens up close.

**<庭園造りの歴史>**  
 庭園造りの歴史は、古くから続いています。平安時代には、貴族の邸宅に美しい庭園が造られ、その美しさを賞する文化が栄えました。室町時代には、禅宗の影響で、より自然に近い庭園が造られるようになりました。

**<History of garden creation>**  
 The history of garden creation has continued for a long time. In the Heian period, beautiful gardens were created in the residences of the aristocracy, and the culture of appreciating their beauty flourished. In the Muromachi period, the influence of Zen Buddhism led to the creation of gardens that were closer to nature.



### Sergilenen bahçenin tanıtımı

Explanation of the Exhibited Japanese Garden / 出展日本庭園の解説



**1. Ryūkyū-kyō**  
 Ryūkyū-kyō is a traditional Japanese garden style characterized by its use of water and stone. It is a beautiful example of the art of garden design.

**2. Kōryū-kyō**  
 Kōryū-kyō is a traditional Japanese garden style characterized by its use of water and stone. It is a beautiful example of the art of garden design.

**3. Ryūkyū-kyō**  
 Ryūkyū-kyō is a traditional Japanese garden style characterized by its use of water and stone. It is a beautiful example of the art of garden design.

**4. Tsubaki**  
 Tsubaki is a traditional Japanese garden style characterized by its use of water and stone. It is a beautiful example of the art of garden design.

**5. Sakura**  
 Sakura is a traditional Japanese garden style characterized by its use of water and stone. It is a beautiful example of the art of garden design.

**6. Cherry Blossom**  
 Cherry blossom is a traditional Japanese garden style characterized by its use of water and stone. It is a beautiful example of the art of garden design.

日本庭園の紹介パネル(左:日本庭園の歴史、右:出展日本庭園の概要)

### Introduction of The Latest Greening Situation of Japan

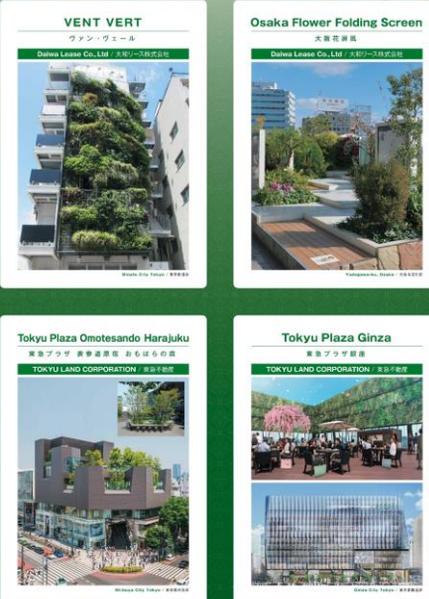
日本の最新緑化事情の紹介

**VENT VERT**  
 オアシス・ヴェント  
 Daiwa Lease Co., Ltd. / 大塚建設株式会社

**Osaka Flower Folding Screen**  
 大阪花折り屏風  
 Daiwa Lease Co., Ltd. / 大塚建設株式会社

**Tokyu Plaza Omotesando Harajuku**  
 東急プラザ 表参道 原宿  
 TOKYU LAND CORPORATION / 東急不動産

**Tokyu Plaza Ginza**  
 東急プラザ 銀座  
 TOKYU LAND CORPORATION / 東急不動産



### Introduction of The Latest Greening Situation of Japan

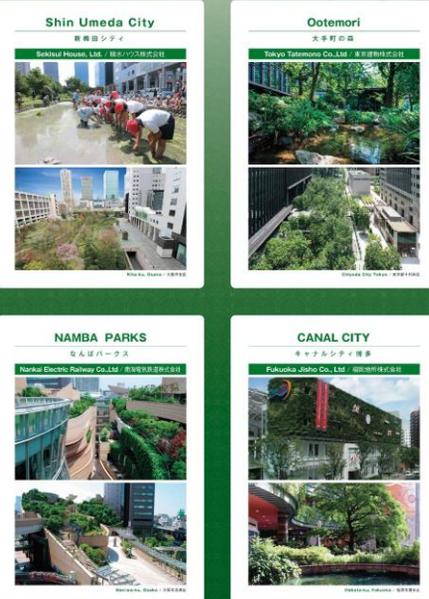
日本の最新緑化事情の紹介

**Shin Umeda City**  
 新大塚シティ  
 Sekiud Hamak, Ltd. / 関川建設株式会社

**Ootemori**  
 大塚駅前  
 Tokyo Tomimori Co., Ltd. / 東京住都株式会社

**NAMBA PARKS**  
 なんばパークス  
 Nankai Electric Railway Co., Ltd. / 南海電気鉄道株式会社

**CANAL CITY**  
 キャナルシティ博多  
 Fukuoka Jisho Co., Ltd. / 福岡地産株式会社



最近の日本における緑化事情を紹介するパネル

日本庭園の整備にあたっては、2016年アンタルヤ国際園芸博覧会日本庭園出展実行委員会と箱根植木株式会社との間で契約を締結し、平成27年12月から平成28年4月までの約4ヶ月間にわたり整備工事を行った。

また、維持管理については、植栽(樹木、花卉、芝生)及び工作物の管理に関して箱根植木株式会社と、日常の点検・巡視等に関して株式会社JTBコミュニケーションデザインと契約を締結し、6ヶ月に及ぶ開会期間中の日本庭園の維持管理にあたった。

### <整備工事の経緯>

- |              |                        |
|--------------|------------------------|
| ○平成27年12月 1日 | 工事契約締結(契約相手方:箱根植木株式会社) |
| ○平成27年12月 7日 | 現地測量開始                 |
| ○平成27年12月16日 | アンタルヤ博覧会協会へ工事届を提出      |
| ○平成27年12月21日 | 工事着手                   |



工事着工前(12月)

12月から現地測量を実施し、1月から本格的な工事に着手した。材料のうち、植物、石材は、現地調達とした。石材は、大理石系の石を石敷きや白砂敷に、堆積岩(アンタルヤ産)を滝石組に活用した。竹垣、石灯籠、瓦、亭舎等は、日本からコンテナ便にて輸送した。

工事にあたっては、箱根植木株式会社の技術者1名が、1月～4月まで常駐して、工事管理及び関係機関等との調整を行ったほか、日本から派遣された熟練の造園職人(7名:東京、京都、長野、石川)により、龍門瀑(滝石組)や添景物(石灯籠、蹲踞等)の設置、垣類(臥牛垣・松明垣等)の製作等を行った。



外壁コンクリート打設(1月)



盛土造成(2月)



滝石組設置(2月)



野筋造成(2月)



高木植栽(2～3月)



竹垣類設置(3月)



芝張(3月)



白砂敷(3月)

維持管理作業については、7月、9月、10月の3回にわたり、日本から造園技術者を派遣し、植栽管理、花壇の植え替え、現地業者の指導等にあたった。芝生の刈り込みや雑草の除去については、箱根植木株式会社からの委託を受けた現地造園業者が定期的実施した。



花壇植え替え



高木植え替え



芝刈り

日本庭園の整備期間中、アンタルヤ市民及びアクデニズ大学の学生を対象とした、日本庭園に関するセミナーを開催し、日本庭園及び日本文化の理解の促進に努めた。

また、アクデニズ大学の学生に、実際に日本庭園の整備に参加してもらうことで、日本庭園及び日本文化への理解の促進並びに引渡し後の管理への関心の喚起に努めた。

## 日本庭園セミナーの開催

アクデニズ大学(※)の学生を対象とした日本庭園セミナーを、同大学ジェントロジー学科の村上育子教授の協力を得て、以下のとおり開催した。

※アンタルヤに位置する学生数約42,000人、18の学部を有する国立の総合大学

開催日：平成28年2月20日(土)

内容：日本庭園の歴史、出展庭園の詳細の紹介

場所：アクデニズ大学

参加者数：ジェントロジー学科及び庭園建築学科の学生16名



アンタルヤ市民を対象とした日本庭園セミナーを以下のとおり開催した。

開催日：平成28年3月21日(月)

内容：日本庭園の歴史、出展庭園の詳細の紹介

場所：アンタルヤ市内 Kent Konseyiオフィス

参加者数：約40名



## 日本庭園の作庭体験

アクデニズ大学の学生を対象に、日本庭園の作庭体験(花壇への花苗の植え付け)を実施した。

開催日：平成28年4月9日(土)

内容：日本庭園内の花壇への花苗の植え付け作業

参加者数：5名



4月23日(土)10時の博覧会のオープニングに先立ち、同日9時より日本政府出展にかかるオープニングセレモニーを執り行った。屋外出展(日本庭園)の開園式では、国土交通省佐南谷大臣官房審議官の挨拶に続き、こいのぼりの掲揚を行った。

### オープニングセレモニー・スケジュール

9:00～ 9:20	屋内展示 テープカット
9:40～10:00	屋外出展 日本庭園開園式
10:00～11:45	日本庭園及び博覧会会場の視察
12:00～14:00	レセプション(コンGRESセンター)



#### < 参列者 >

勝亦 孝彦	日本国政府代表(在トルコ日本大使館公使)
佐南谷英龍	国土交通省大臣官房審議官
鈴木 良典	農林水産省生産振興審議官
和田 新也	国際園芸家協会(AIPH)日本代表
宮下 和正	日本庭園出展実行委員会会長代理((公財)都市緑化機構専務理事)
大槻 憲章	(公財)国際花と緑の博覧会記念協会企画事業部長
山形 卓也	屋内展示現地事務所長

#### 日本庭園開園式

挨拶:佐南谷国交省審議官  
こいのぼり掲揚  
記念写真撮影  
日本庭園の視察



国土交通省 佐南谷審議官の挨拶



こいのぼりの掲揚



## 国土交通省 佐南谷審議官 挨拶

2016年アンタルヤ国際園芸博覧会の日本国政府屋外出展の開園式にあたり、屋外出展を担当する国土交通省を代表して、一言ご挨拶を申し上げます。

本博覧会では、屋外出展として日本庭園を出展しております。出展に当たっては、本日ここに参加されている都市緑化機構、国際花と緑の博覧会記念協会をはじめとする緑化関係団体、民間企業、静岡県からの協力をいただきました。また、政府代表の在トルコ日本国大使館の勝亦公使、そしてアンタルヤ国際園芸博覧会協会をはじめ、多数の方々のご支援をいただきました。ここに厚く御礼申し上げます。

今回出展した日本庭園は、約500年前に遡る鎌倉後期から室町時代にかけて発達した「枯山水」様式により整備されたものです。主景となる龍門瀑と名付けられた滝石組み、そこから流れ出る河川や海を表現した白砂敷、それらを囲うように植栽された木々や、添景として配置された竹垣や石灯籠などにより日本の自然風景を凝縮して表現しています。

また、庭園の一面には、「エルトゥールル号事件」の舞台となった和歌山県串本町檜野崎をモチーフとした州浜と、イスタンブール周辺の地形をモチーフとした野筋を配置しました。整備中は、アンタルヤ市民の皆さんを対象に日本庭園に関するセミナーを開いたり、市内にあるアクデニズ大学の庭園建築学科の皆さんに作庭体験をして頂くなど、日本とトルコの友好関係を表現し、象徴した庭園となっております。

期間中に訪れるトルコの皆様と諸外国の皆様に、日本の伝統的造園技術と、日本とトルコの友好を感じていただければ幸いです。

国土交通省といたしましても、会期中の維持管理や、ジャパンデーをはじめとするイベント運営に万全を期して参りますので、関係の皆様方の引き続きのご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

本博覧会が、トルコ共和国と日本国、さらに諸外国との友好の懸け橋となり、成功をおさめられますことを祈念して、私の挨拶といたします。

2016年4月23日  
国土交通省大臣官房審議官 佐南谷 英龍



屋内展示テープカット



### オープニングレセプション

挨拶：勝亦日本国政府代表

乾杯：鈴木農水省生産振興審議官

中締め：佐南谷国交省大臣官房審議官



レセプションの様子

9月7日(水)のジャパンデーでは、ビジネス意見交換会、サインブックへの記帳、日本政府出展視察、公式式典(トルコ政府主催)及び記念レセプションが開催された。

### ジャパンデーのスケジュール

14:30～16:00	ビジネス意見交換会
15:30～16:15	サインブックへの記帳
16:30～17:30	日本政府出展の視察
18:00～19:00	公式式典
19:30～20:30	記念レセプション
21:00～22:00	メインアトラクション



日本国旗仕様のエキスポタワー



現地新聞報道

### <ビジネス意見交換会>

ジャパンデーのプログラムの一つとして、日本とトルコ間のビジネス交流の活性化等を目的とした、日本及びトルコの緑化・花卉園芸関係団体によるビジネス意見交換会がVIP棟において開催され、興水肇(公財)都市緑化機構理事長及び山田拓広(一社)日本造園建設業協会国際委員長が出席した。鈴木農水省生産振興審議官及び古澤国交省緑地環境室長の挨拶の後、座長の福井岐阜大学教授の進行により、「都市化と人と環境」をテーマに活発な意見交換が行われた。

(日本側出席者)

岐阜大学 応用生物科学部 福井教授(座長)  
一般社団法人日本花き卸売市場協会 磯村会長  
公益財団法人都市緑化機構 興水理事長  
一般社団法人日本造園建設業協会 山田国際委員長  
全国花き輸出拡大協議会 西岸事務局長

(トルコ側出席者)

S.S.FLORA 生産販売共同組合  
SUSBiR 植木生産輸出組合連合会

### 【意見交換後の取りまとめのポイント】

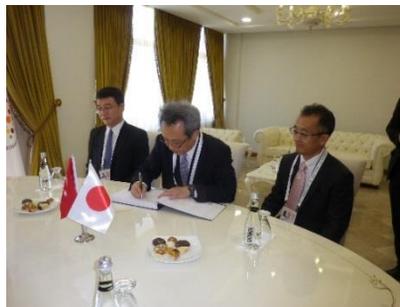
- ① 2017年に日本の横浜で開催される全国都市緑化よこはまフェア(3月25日～6月4日 主催:都市緑化機構・横浜市)では、トルコからのSUSBiR関係者の視察団を歓迎する。
- ② 2017年にトルコのイスタンブールで開催されるEURASIA PLANT FAIR ISTANBUL & FLOWER SHOW ISTANBUL (11月下旬4日間)には、日本からの全国花き輸出拡大協議会等の出展を歓迎する。
- ③ SUSBiRや日本造園建設業協会等の組織間連携に基づく、長期人材派遣研修や日本庭園の管理技術セミナーの開催等の可能性を検討する。
- ④ 切花や鉢物等現物の輸出が、当面困難なものについては、植物の新品種の導入を含めた知財輸出入の可能性を検討する。



ビジネス意見交換会(左・中:意見交換会の様子、右:国土交通省古澤室長による挨拶)

### <サインブックへの記帳>

VIP棟において中村日本国政府代表、鈴木農水省生産振興審議官及び古澤国交省緑地環境室長による、サインブックへの記帳が行われた。



## <日本政府出展の視察>



## <ジャパンデー公式式典>

### 公式式典 次第

国旗掲揚

中村日本国政府代表挨拶

鈴木農水省生産振興審議官挨拶

キョク・トルコ政府代表挨拶

映画「海難1890」メイキング映像紹介

假屋崎省吾氏華道デモンストレーション

歌舞伎舞踊パフォーマンス



公式式典会場ステージ



中村日本国政府代表挨拶



假屋崎省吾氏華道デモンストレーション



歌舞伎の舞、和の響き(藤娘)

## <ジャパNDER 記念レセプション>

### 記念レセプション

主催者挨拶: 中村日本国政府代表  
 来賓挨拶: キョク・トルコ政府代表  
 記念品贈呈: 中村政府代表からキョク・トルコ政府代表へ  
 乾杯: 古澤国交省緑地環境室長  
 華道デモンストレーション: 假屋崎省吾氏  
 中締め: 鈴木農水省生産振興審議官



## 記念レセプション 国土交通省古澤室長 乾杯挨拶

本日は、エルドアン・キョク政府代表をはじめとするトルコ共和国及びアンタルヤ国際園芸博覧会協会、並びに屋外・屋内展示にご協力頂いているアクデニズ大学などのトルコ側の関係者の皆様から、ジャパNDERの実施にあたり多大なご協力を賜りましたこと、あらためて私からも厚く感謝申し上げます。

私どもは国土交通省において、特にまちづくりに欠かせない、都市公園の整備や都市緑化の推進、緑化活動に関する普及啓発など、造園緑化技術に関連する政策を担当しております。

我が国の近代の造園技術の起源は、古来より伝わる作庭技術にあり、海外の皆様からは、日本の伝統文化の象徴の一つとして日本庭園に強い関心をもって頂いております。

ここアンタルヤ国際園芸博覧会において出展した枯山水庭園は、石組みや白砂敷、植栽などの伝統的な造園技術を駆使して作られています。庭園の一面には、今日の日本とトルコの友好の礎となる「エルトゥールル号事件」が発生した和歌山県串本町の岬の地形をモチーフとした州浜などを配置しました。

会期は残すところ約2ヶ月となりましたが、期間中に訪れるトルコの皆様と諸外国の皆様には、この日本庭園を通じて日本の伝統的造園技術と、日本とトルコの友好を感じて頂ければ幸いです。

この国際園芸博覧会のように、世界各国の花き園芸や造園技術に関する伝統文化を披露し合う場は大変貴重でかつ大切なものと考えており、あらためて会場の整備と博覧会の運営にご尽力されているトルコ共和国の関係の皆様方に感謝申し上げます。

アンタルヤ国際園芸博覧会の開催を契機として、トルコ共和国と日本国の友好関係が一層深まりますこと、また、本日のジャパNDERを初日とするジャパンフェスティバルの成功を、そして本日ご列席の皆様のご健勝を祈念し、乾杯させていただきます。

## <屋内展示関係イベント>

ジャパンフェスティバル(9月8日(木)～10日(土))では、屋外出展主催の庭園関連の行催事のほかに、日本庭園において屋内出展主催のコマやけん玉を使っての日本文化紹介イベントが開催された。また、屋内展示区域においてはフラワーワークショップが開催された。このほか、コンgresセンターでは、エルトゥールル号事件など日本とトルコの絆を描いた映画「海難1890」の上映会が催された。



日本文化紹介イベント



フラワーワークショップ



9月8日(木)～10日(土)のジャパンフェスティバル期間中、屋外出展区域の日本庭園において、(一社)日本造園建設業協会の協力の下、日本庭園管理技術講座(8～10日)、日本庭園文化セミナー(10日)、日本文化紹介イベント((8～10日、主催:屋内出展)の開催及び来訪者アンケートを実施した。

## 日本庭園管理技術講座

9月8日(木)～10日(土)に、日本庭園への来訪者に対して、出展日本庭園の解説、白砂敷での砂紋描写のデモンストレーション等の日本庭園管理技術講座を開催し、日本庭園や庭園技術に関する理解の促進を図った。

開催日時:9月8日(木)・9日(金) 18:00～、19:00～  
9月10日(土) 19:00～

このほかの時間にも来訪者の状況に応じ随時実施。

参加者数:約200名



## 日本庭園文化セミナー

9月10日(土)に、日本庭園整備期間中(2～3月)に開催した、アンタルヤ市民及びアクデニズ大学学生を対象としたセミナー参加者等を対象として、「日本庭園文化セミナー(コンGRESSセンター内の研修室における日本庭園の歴史及び出展庭園に関する解説、日本庭園における庭園管理のデモンストレーション)」を開催した。

開催日時:9月10日(土)

16:00～ 日本庭園に関する解説

17:00～ 庭園管理デモンストレーション

参加者数:約20名



10月29日(土)～30日(日)に、クロージング関連行事が執り行われた。29日は、ガーデンコンテスト表彰式及び日本政府主催レセプション、30日は、政府出展(屋内及び屋外)のクロージング関連行事及び博覧会閉会式が開催された。

### クロージング関連行事のスケジュール

10月29日(土)

16:00～19:00 ガーデンコンテスト 表彰式

19:30～21:00 日本政府主催クロージングレセプション

10月30日(日)

日本政府出展クロージングセレモニー

10:00～10:30 屋内出展

11:00～11:30 屋外出展

10月29日(土)に、アンタルヤ博覧会協会主催のガーデンコンテスト表彰式が kongressen ンターで開催され、日本政府の屋外出展は銀賞を受賞した。表彰式では、榑野良明国土交通省大臣官房審議官が記念の額を受け取った。



### 表彰結果

【AIPH賞】屋内外庭園：中国、グリーンシティ：韓国

【国別庭園(屋外)】

<金賞> 中国、ドイツ、韓国、アゼルバイジャン、カタール、タイ

<銀賞> ネパール、ハンガリー、イタリア、日本、オランダ

<銅賞> ジョージア、アフガニスタン、ケニア、トルクメニスタン、インド

【国別庭園(屋内)】

<金賞> 日本 <銀賞> シンガポール



銀賞額



出展証明書



博覧会協会及びAIPHによる現地審査風景(左:4月、右:7月)

10月29日(土)に開催された日本政府主催のクロージングレセプションにおいて、榑野良明国土交通省大臣官房審議官より、トルコ政府代表エルドアン・キョク大使に対し、日本庭園の寄贈にあたり日本庭園贈呈証を授与した。同時に、日本庭園が継続的に良好に管理されることを目的に作成した「日本庭園管理マニュアル」を博覧会協会事務局に贈呈した。



日本庭園贈呈証

## 国際園芸博覧会2016トルコ・アンタルヤ 出展日本庭園の寄贈

このたび、国土交通省及び2016年アンタルヤ国際園芸博覧会日本庭園出展委員会は、アンタルヤ博覧会協会に対し、出展日本庭園を寄贈いたします。

日本庭園が今後も保存され、この度の国際園芸博覧会の遺産として、アンタルヤ地域の観光拠点として、そして、日本とトルコ両国の友好の象徴として、末永く人々に愛されることを希望します。

2016年10月30日

国土交通省

2016年アンタルヤ国際園芸博覧会日本庭園出展実行委員会



日本庭園管理  
マニュアル

### <管理マニュアル 目次>

- |  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>1. はじめに             <ul style="list-style-type: none"> <li>1-1. 目的</li> <li>1-2. 日本庭園の管理</li> </ul> </li> <li>2. 日本庭園の設計趣旨             <ul style="list-style-type: none"> <li>2-1. 概要</li> <li>2-2. 設計趣旨</li> <li>2-3. トルコと日本の友好関係の表現</li> </ul> </li> <li>3. 主要施設</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>4. 植物管理             <ul style="list-style-type: none"> <li>4-1. 剪定・刈込</li> <li>4-2. 施肥</li> <li>4-3. 芝生管理</li> <li>4-4. 除草</li> <li>4-5. 灌水</li> </ul> </li> <li>5. その他の施設</li> <li>6. 問い合わせ先</li> </ul> |
|--|---|

### クロージングレセプション

挨拶: 中村日本国政府代表

挨拶: キョク・トルコ政府代表

乾杯: 綱澤農水省花き産業・施設園芸振興室長

庭園贈呈: 榑野国交省大臣官房審議官からキョク・トルコ政府代表へ

中締め: 榑野国交省大臣官房審議官



# 日本庭園 閉園式

10月30日(日)に、日本政府出展(屋内及び屋外)にかかるクロージングセレモニーを開催した。屋外出展(日本庭園)の閉園式では、中村耕一郎日本国政府代表(在トルコ日本大使館公使)及び柳野良明国土交通省大臣官房審議官の挨拶の後、こいのぼりの降納を行った。

## クロージングセレモニー・スケジュール

10:00～10:30 屋内展示  
11:00～11:30 屋外展示 日本庭園閉園式

## 日本庭園閉園式

挨拶:中村日本国政府代表  
挨拶:柳野国交省審議官  
こいのぼり降納  
記念写真撮影



中村 日本国政府代表の挨拶



国土交通省 柳野審議官の挨拶



こいのぼりの降納



## < 参列者 >

中村 耕一郎  
柳野 良明  
綱澤 幹夫  
松島 寿  
山形 卓也

日本国政府代表(在トルコ日本大使館公使)  
国土交通省大臣官房審議官  
農林水産省花き産業・施設園芸振興室長  
実行委員会会長代理(都市緑化機構事務局長)  
屋内展示現地事務所長



国土交通省 榑野審議官 挨拶

2016年アンタルヤ国際園芸博覧会の日本国政府屋外出展の閉園式にあたり、屋外出展を担当する国土交通省を代表して、一言ご挨拶を申し上げます。

本博覧会では、屋外出展として日本庭園を出展いたしました。出展に当たり、本日ここに参加されている都市緑化機構をはじめとする緑化関係団体、民間企業、静岡県からの協力をいただきました。また、政府代表の在トルコ日本国大使館の中村公使、そしてエルドアン・キョク政府代表をはじめとするトルコ共和国及びアンタルヤ国際園芸博覧会協会の皆様、そして多くの方々のご支援をいただきました。ここに厚く御礼申し上げます。

今回出展した日本庭園は、日本の伝統的な庭園様式の一つであります「枯山水」様式により整備されたもので、日本の自然風景を凝縮して表現しています。

庭園の一面には、日本とトルコの友好の礎である「エルトゥールル号事件」の舞台となった和歌山県串本町檜野崎をモチーフとした州浜や、イスタンブール周辺の地形をモチーフとした野筋などを配置し、日本とトルコの友好関係を表現しております。

会期中はトルコの皆様をはじめ、多くの諸外国の皆様から大変好評頂いたと伺っており、来訪の方々には日本の伝統的造園技術と、日本とトルコの友好を大いに感じて頂けたのではないかと考えております。

この日本庭園は、本日、私ども国土交通省及びアンタルヤ国際園芸博覧会出展実行委員会から、アンタルヤ国際園芸博覧会協会へ寄贈させて頂くこととしており、博覧会終了後も適切に維持管理され、博覧会の理念とともに後世に末永く引き継がれていくことを願っております。

結びに、本日ご出席の皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げて、私の挨拶といたします。

2016年10月30日  
国土交通省大臣官房審議官 榑野 良明

### <屋内展示クロージング>



屋内展示 切り花セレモニー



日本政府屋内出展と共同でホームページを開設し、日本庭園の紹介を掲載するとともに、facebookで、現地の情報を発信した。



## EXPO2016 ANTALYA 日本国政府屋外山展概要



日本庭園出展の目的



イメージ写真



池・橋・石・木

## facebook

Expo2016 Japan Exhibits 国際園芸博覧会2016 トルコ・アンタルヤ 日本国政府出展さんが写真12件を追加しました。  
4月25日

日本庭園の完成写真  
<http://expo2016.jp>  
[#expo2016japangarden](https://www.facebook.com/expo2016japangarden)



いいね！74件 シェア2件  
いいね！ コメントする  
masako Kitashoji 稚子 北庄司さん、Şule Öztaşさん、久米貴久さん、他71人が「いいね！」と言っています。  
シェア2件

日本庭園への来訪を促すため、期間中、日本庭園の案内チラシを屋内展示区域で配布した。また、ジャパンフェスティバルにおける日本庭園に関する行催事の案内チラシを作成し、配布した。



屋内展示区域で配布した日本庭園の案内チラシ

ジャパンフェスティバル行催事の案内チラシ

9月8日(木)～10日(土)に開催されたジャパンフェスティバルでの日本庭園関連イベントへの参加者等、日本庭園への来訪者に対してアンケートを実施し、290の回答を得た。

日本庭園の出展を通じた日本庭園への興味の喚起や日本文化の理解促進、日本とトルコの友好関係の強化への貢献等に対して高く評価された。

Q1. この日本庭園を訪れるのは初めてですか。

Q2. 講座に参加してよかったですか。

Q3. 講座は分かりやすかったですか。

Q4. 日本庭園についてもっと知りたいと思いますか。

Q5. 日本の庭園技術に興味を持ちましたか。

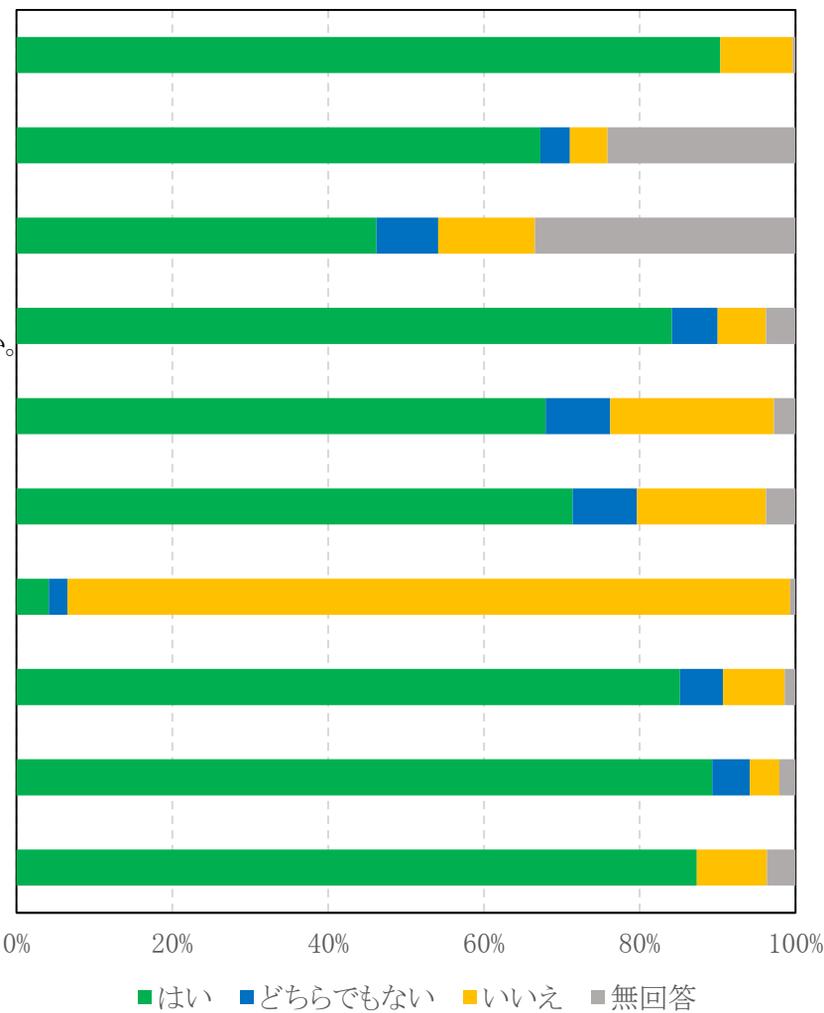
Q6. 今後このような講座に参加したいですか。

Q7. 日本を訪れたことがありますか。

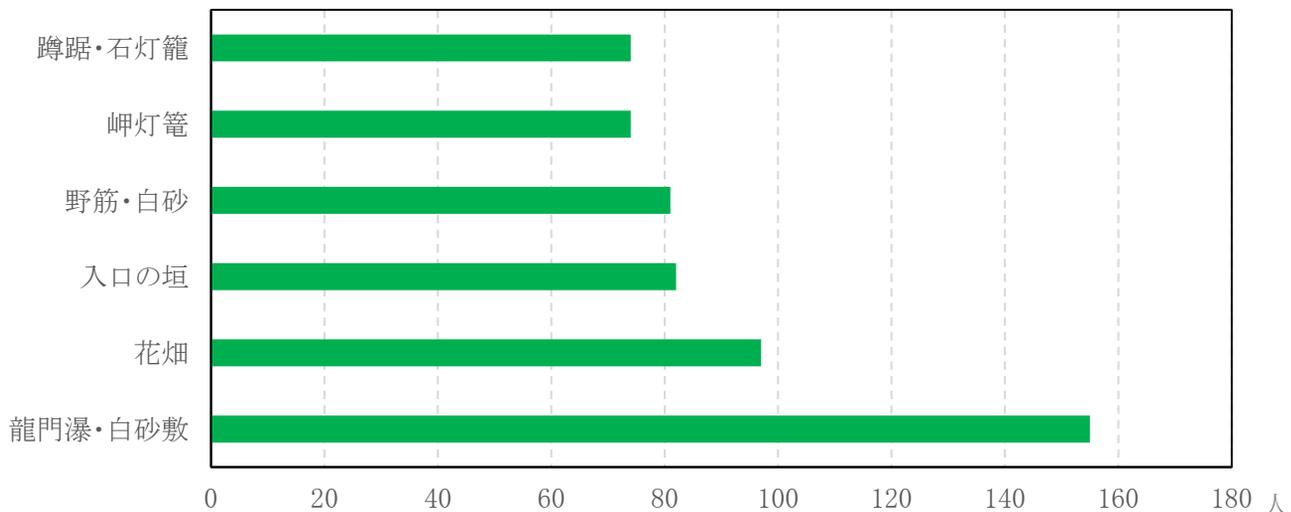
Q8. この日本庭園を訪問したことで日本を訪れたいくなりましたか。

Q9. この日本庭園がトルコにおける日本の伝統文化に対する認識の向上に貢献すると思いますか。

Q10. この日本庭園がトルコと日本の関係強化に貢献すると思いますか。

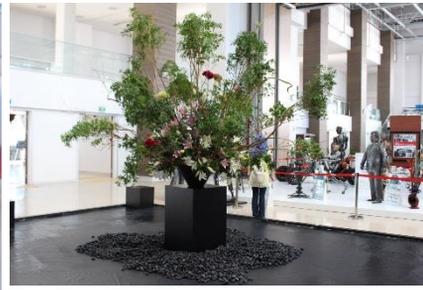


Q11. 最も印象的だった日本庭園の施設を教えてください。(複数回答)

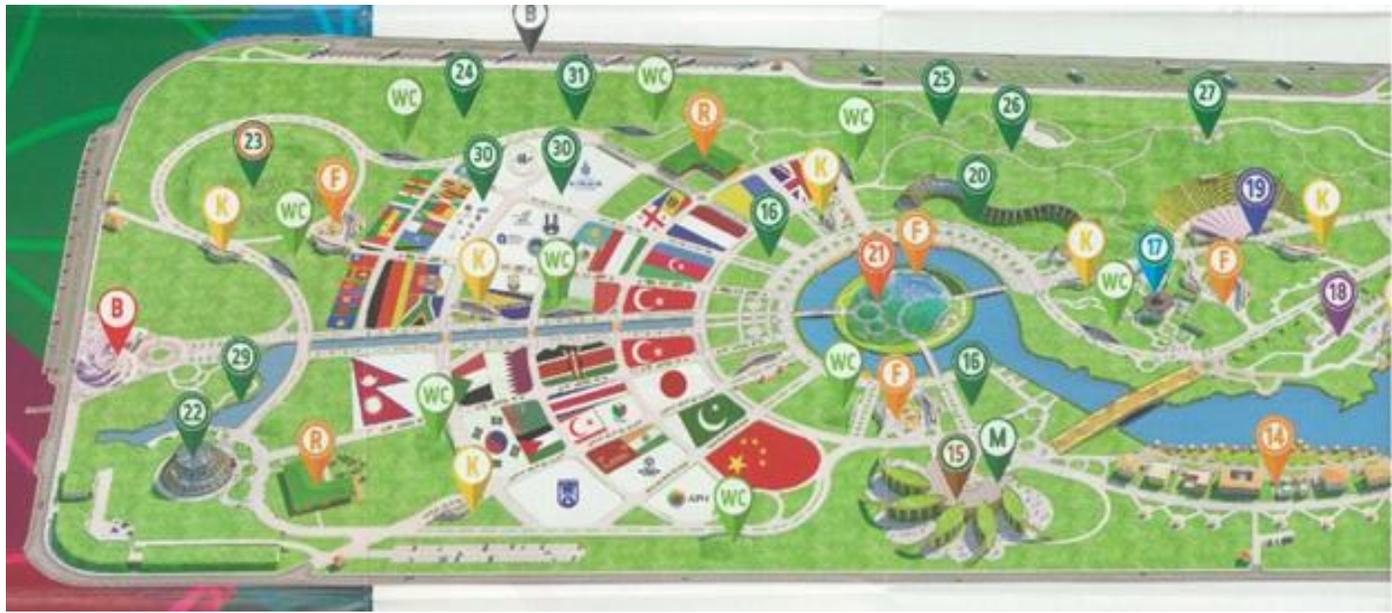


# 日本庭園









## 參加國

-  **Almanya Federal Cumhuriyeti**  
Federal Republic of Germany
-  **Azerbaycan Cumhuriyeti**  
Republic of Azerbaijan
-  **Bangladeş Halk Cumhuriyeti**  
People's Republic of Bangladesh
-  **Benin Cumhuriyeti**  
Republic of Benin
-  **Bosna Hersek**  
Bosnia and Herzegovina
-  **Bulgaristan Cumhuriyeti**  
Republic of Bulgaria
-  **Burundi Cumhuriyeti**  
Republic of Burundi
-  **Büyük Britanya ve Kuzey İrlanda Birleşik Krallığı**  
United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland

-  **Çin Halk Cumhuriyeti**  
People's Republic of China
-  **Eritre Devleti**  
State of Eritrea
-  **Etiyopya Federal Demokratik Cumhuriyeti**  
Federal Democratic Republic of Ethiopia
-  **Filistin Devleti**  
State of Palestine
-  **Gana Cumhuriyeti**  
Republic of Ghana
-  **Gine Cumhuriyeti**  
Republic of Guinea
-  **Güney Afrika Cumhuriyeti**  
Republic of South Africa
-  **Gürcistan Cumhuriyeti**  
Republic of Georgia

-  **Hindistan Cumhuriyeti**  
Republic of India
-  **Hollanda Krallığı**  
Kingdom of the Netherlands
-  **İtalya Cumhuriyeti**  
Italian Republic
-  **Japonya**  
Japan
-  **Kamerun Cumhuriyeti**  
Republic of Cameroon
-  **Katar Devleti**  
State of Qatar
-  **Kazakistan Cumhuriyeti**  
Republic of Kazakhstan
-  **Kenya Cumhuriyeti**  
Republic of Kenya

-  **Komorlar Birliği**  
Union of the Comoros
-  **Kongo Demokratik Cumhuriyeti**  
Democratic Republic of the Congo
-  **Kore Cumhuriyeti**  
Republic of Korea
-  **Kore Demokratik Halk Cumhuriyeti**  
Democratic People's Republic of Korea
-  **Kosova Cumhuriyeti**  
Republic of Kosovo
-  **Macaristan**  
Hungary
-  **Madagaskar Cumhuriyeti**  
Republic of Madagascar
-  **Meksika Birleşik Devletleri**  
United Mexican States

-  **Moldova Cumhuriyeti**  
Republic of Moldova
-  **Moritanya İslam Cumhuriyeti**  
Islamic Republic of Mauritania
-  **Myanmar Birliği Cumhuriyeti**  
Republic of the Union of Myanmar
-  **Nepal Federal Demokratik Cumhuriyeti**  
Federal Democratic Republic of Nepal
-  **Nijer Cumhuriyeti**  
Republic of Niger
-  **Pakistan İslam Cumhuriyeti**  
Islamic Republic of Pakistan
-  **Senegal Cumhuriyeti**  
Republic of Senegal
-  **Sırbistan Cumhuriyeti**  
Republic of Serbia

-  **Sierra Leone Cumhuriyeti**  
Republic of Sierra Leone
-  **Singapur Cumhuriyeti**  
Republic of Singapore
-  **Somali Federal Cumhuriyeti**  
Federal Republic of Somalia
-  **Sri Lanka Demokratik Sosyalist Cumhuriyeti**  
Democratic Socialist Republic of Sri Lanka
-  **Sudan Cumhuriyeti**  
Republic of the Sudan
-  **Tanzanya Birleşik Cumhuriyeti**  
United Republic of Tanzania
-  **Tayland Krallığı**  
Kingdom of Thailand
-  **Türkmenistan**  
Turkmenistan

-  **Uganda Cumhuriyeti**  
The Republic of Uganda
-  **Ukrayna**  
Ukraine
-  **Yemen Cumhuriyeti**  
Republic of Yemen
-  **Zimbabve Cumhuriyeti**  
Republic of Zimbabwe
-  **KKTC**  
TRNC
-  **Çin Taipei (TFDA)**  
Chinese Taipei (TFDA)
-  **Hong Kong Silk Road Association**  
Hong Kong Silk Road Association PRC



中国



韓国



タイ



パキスタン



ネパール



インド



台湾



メキシコ



イギリス



ドイツ



イタリア



オランダ



モルドバ



ウクライナ



ジョージア



ハンガリー



セルビア



アゼルバイジャン



トルクメニスタン



北キプロス



パレスチナ



カタール



南アフリカ



スーダン



ケニア



トルコ



トルコ



トルコ

## &lt;会則&gt;

(名称)

第1条 本委員会は、名称を「2016年アンタルヤ国際園芸博覧会日本庭園出展実行委員会」(以下「本会」という。)とする。

(目的)

第2条 本会は、2016年(平成28年)にトルコ共和国アンタルヤ県にて開催される「2016年アンタルヤ国際園芸博覧会」(以下「園芸博」という。)の国際庭園ゾーンに日本庭園を出展することを目的とする。

(事業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するために、次に掲げる事業を行う。

- (1) 本会が園芸博に出展する日本庭園の整備及び管理並びに会期中の出展に係わる催事に関する事項
- (2) 次条の構成団体が独自に行う展示、催事等の調整及び協力に関する事項
- (3) その他前条の目的を達成するために必要な事項

(構成)

第4条 本会は、別紙に掲げる団体をもって構成する。

- 2 本会の委員は、各構成団体が指名した者があたる。

(役員等)

第5条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
  - (2) 副会長 1名
  - (3) 監事 1名
- 2 本会に顧問を置くことができる。
  - 3 会長は、公益財団法人都市緑化機構理事長をもって充てる。
  - 4 副会長は、委員の中から会長が指名する。
  - 5 監事は、委員の中から会長が指名する。
  - 6 顧問は、会長が委嘱する。

(役員等の職務)

第6条 会長は、本会を代表し、会務を総括する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。
- 3 監事は、本会の会計を監査する。
- 4 顧問は、本会の運営に関する重要な事項について、意見を述べることができる。

(役員等の任期)

第7条 役員等の任期は、第12条の規定に基づく本会の解散までとする。

- 2 欠員補充の役員等の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第8条 本会の会議は、会長が召集する。

- 2 会議においては、次の事項について審議する。
  - (1) 会則に関する事項
  - (2) 事業計画並びに予算及び決算に関する事項
  - (3) その他会務運営に必要な事項
- 3 会議は、委員の二分の一以上の出席をもって成立する。ただし、代理又は委任状による出席を認めるものとする。
- 4 会議の議事は、出席者の過半数をもって決する。
- 5 会議には、必要に応じて日本政府出展の関係者及び会長が認める者を出席させることができる。

(事務局)

第9条 本会の事務局は、公益財団法人都市緑化機構(東京都千代田区神田神保町3丁目2番地4 田村ビル2F)に置く。

(経費)

第10条 第3条の事業の経費は、構成団体及びその他の者の協賛金等をもってあてる。

- 2 協賛金等には、構成団体が独自で行う展示、催事等の経費は含まないものとする。

(事業期間)

第11条 本会の事業期間は、本会設立の日から解散の日までとし、会計報告は解散時に一括して行う。ただし、必要がある場合は、その都度会計報告を行うことができる。

(解散)

第12条 本会は、その事業目的を達成した時に解散する。

(その他)

第13条 この会則に定めのない事項は、本会で定めるものとする。

附則

この会則は、平成27年5月21日から施行する。

## <構成>

	所属	役職	氏名
会長	公益財団法人 都市緑化機構	理事長	輿水 肇
副会長	公益財団法人 国際花と緑の博覧会記念協会	専務理事	田中 充
	国土交通省 都市局 公園緑地・景観課	緑地環境室長	古澤 達也
	一般財団法人 沖縄美ら島財団	常務理事	後藤 和夫
	一般財団法人 公園財団	常務理事	西川 嘉輝
	公益社団法人 日本家庭園芸普及協会	専務理事	前田 博
	一般社団法人 日本運動施設建設業協会	理事・総務委員長	岡田 一良
	一般社団法人 日本公園施設業協会	専務理事	角南 勇二
	一般社団法人 日本造園組合連合会	専務理事	坂本 裕彰
	一般社団法人 日本造園建設業協会	副会長	和田 新也
	一般財団法人 日本造園修景協会	副理事長	北山 武征
	一般財団法人 日本緑化センター	専務理事	浦田 啓充
	一般社団法人 ランドスケープコンサルタンツ協会	専務理事	川尻 幸由
監事	一般社団法人 日本公園緑地協会	常務理事	霊山 明夫
オブザーバー	静岡県	都市緑地課長	濱田 貴夫

平成29年1月20日現在



## <予算>

区分	決算額(千円)	備考
<b>【収入】</b>		
地方公共団体	2,000	1団体
緑関係団体	23,750	13団体
民間企業	7,700	4団体
利息	1	
収入合計	33,451	
<b>【支出】</b>		
整備	29,190	日本庭園の整備
維持管理	3,810	日本庭園の植栽管理・巡視等
行催事運営	200	開園式・閉園式・ジャパンデー
業務管理	251	報告書印刷、会議費、交通費等
支出合計	33,451	

## <協賛企業>

- 広告協賛: 株式会社IHI、株式会社サカタのタネ、東急不動産株式会社
- 物品協賛: 株式会社伊藤商事
- 寄付協賛: 株式会社大和リース

実行委員会に対して協賛企業が支出する費用の税務上の取扱いについて、東京国税局に意見照会を行い、回答を得た。

## [照会の内容]

### 1 事前照会の趣旨

「2016年アンタルヤ国際園芸博覧会」(以下「国際園芸博覧会」といいます。)は、平成28年4月23日(土)から10月30日(日)までの191日間、トルコ共和国アンタルヤ県において、2016年アンタルヤ博覧会協会が主催して開催するもので、国際園芸博覧会には100か国及び30機関程度の参加と、約800万人の入場者数が見込まれています。

日本国政府としては、平成27年4月21日(火)に、国際園芸博覧会への公式参加に関する閣議了解(担当省庁:農林水産省、外務省、経済産業省、国土交通省)がなされたところ、国際園芸博覧会の参加を通じて、1博覧会における情報発信を行い、トルコ及び中東地域をはじめ世界に向けた花きの輸出拡大、造園緑化技術の海外展開等を図ること、2トルコ共和国と我が国の長い友好の歴史を踏まえた経済・文化交流促進の機運の向上等両国の良好な関係を一層強固にすることが期待されています。

国際園芸博覧会への出展については、屋外出展を担当する国土交通省の方針として、日本庭園を出展することになっており、当該日本庭園については、国際園芸博覧会会場の国際庭園ゾーン内の約1,200平方メートルの区画において、日本文化の象徴となる伝統的な造園技術を活用した庭園(室町時代の書院造庭園をイメージしたもの)を整備し、管理運営することを予定しております。

本出展を実施する「2016年アンタルヤ国際園芸博覧会日本庭園出展実行委員会」(以下「実行委員会」といいます。)では、本出展の成功に向け、企業・団体等に対し、幅広く協賛を募ることとしています。この協賛の方法は、広告宣伝を目的とした金銭による協賛及び物品・サービスによる協賛並びに寄附協賛の3種類があり、寄附協賛以外の協賛については、その協賛に相応する広告宣伝の特典(以下「広告宣伝特典」といいます。)を付与する予定です。

つきましては、事業者である企業・団体等(以下「協賛企業」といいます。)が国際園芸博覧会に協賛するために支出する費用について、税務上、下記3のように取り扱って差し支えないか照会いたします。

なお、実行委員会の事務所の所在地は日本国内にあり、また、本店所在地が日本国内にある協賛企業が協賛をした場合であることを照会の前提とします。

### 2 事前照会に係る取引等の事実関係

#### (1) 広告協賛

広告協賛を行う協賛企業は、次のイ又はロのいずれかの方法若しくはその組み合わせにより国際園芸博覧会に協賛します。

##### イ 金銭による協賛

金銭による協賛企業は、本出展の実施運営等に要する費用に充てるための金銭を実行委員会に提供します。

##### ロ 物品・サービスによる協賛

物品・サービスによる協賛企業は、本出展の実施運営等に必要な物品又はサービスを実行委員会に無償で提供します。なお、実行委員会に提供される物品は、「屋外用木製ベンチ・スツール」若しくは「こいのぼり」又は「協賛ボード」であり、実行委員会に提供されるサービスは、「出展日本庭園のガイドボランティア」となります。

#### (2) 広告協賛に対する特典

上記(1)の協賛企業に対しては、協賛金額に応じて、次表に掲げる広告宣伝特典を付与します。この場合の協賛金額とは、上記(1)イの場合は金銭の額、上記(1)ロの場合は物品の提供又はサービスの提供に要する費用相当額とし、上記(1)イ及びロの組み合わせによる協賛の場合はその合計額とします。

特典番号	広告宣伝内容	広告宣伝期間
①	実行委員会及び国際園芸博覧会専用ホームページでの協賛企業名の表示、協賛企業のホームページへのリンク	協賛の日(注1)から平成28年12月31日まで
②	国際園芸博覧会会場内の日本庭園における協賛企業名の表示	会期中(注2)

※ 2の特典については、協賛金額に応じ、協賛企業名の表示の大きさに差異をつけます。

注1 協賛の日とは、協賛企業から実行委員会に資金の提供がなされた日、又は物品・サービスの提供がなされた日となります。

2 会期は、平成28年4月23日から平成28年10月30日までとなります。

#### (3) 寄附協賛

寄附協賛を行う協賛企業は、本出展の実施運営等に要する費用に充てるための金銭を実行委員会に寄附します。なお、寄附協賛による協賛企業に対しては、広告宣伝特典の付与はありません。

### 3 2の事実関係に対して事前照会者の求める見解となること理由

#### (1) 法人税法上の取扱い

##### イ 金銭による協賛及び物品による協賛の費用

上記2(2)の表に掲げるとおり、広告宣伝期間は広告宣伝内容によって異なっており、協賛企業は、それらの期間中、2種類の広告宣伝特典を受けることとなります。

他方、協賛企業は、一括して金銭や物品の提供を行い、また、個々の広告宣伝の対価の額も定められていないことから、個々の広告宣伝特典における対価の見積りを協賛企業において行うことは実務上できないものです。

したがって、協賛企業が支出する金銭の額及び物品の提供に要する費用については、広告宣伝期間が最も長い期間である上記2(2)の広告宣伝期間(協賛の日から平成28年12月31日まで)を基礎として期間配分し、それぞれの期間の属する事業年度の損金の額に算入することとして差し支えないと考えます。

ロ サービスによる協賛の費用

(イ) 自社の従業員を派遣した場合

協賛企業が役務の提供をするために支出する費用について、協賛企業が自社の従業員を国際園芸博覧会会場に派遣する場合には、当該費用は、協賛企業の従業員である派遣者に対する給与であることから、通常の給与と同様にその支出の都度損金の額に算入するものと考えます。

(ロ) 派遣会社等を通じて雇用した者を派遣した場合

協賛企業が派遣会社等を通じて実行委員会へ役務の提供をするために支出する費用については、上記イと同様、広告宣伝期間が最も長い期間である上記2(2)の広告宣伝期間(協賛の日から平成28年12月31日まで)を基礎として期間配分し、それぞれの期間の属する事業年度の損金の額に算入することとして差し支えないと考えます。

ハ 寄附協賛の費用

寄附協賛については、広告宣伝を目的とするものではなく、協賛による広告宣伝特典もないことから、反対給付のない一方的行為による金銭の贈与になりますので、法人税法上の一般の寄附金になるものと考えます。

(2) 消費税法上の取扱い

イ 金銭による協賛の費用

協賛企業は、実行委員会に金銭を支出することにより、2種類の広告宣伝特典を受けることになることから、当該金銭の支出は、広告宣伝という役務の提供の対価であると取り扱って差し支えないものと考えます。

ところで、消費税法では、国内において事業者が行った役務の提供を含む資産の譲渡等について課することとされ、役務の提供が国内で行われたかどうかの判定(以下「内外判定」といいます。)は、電気通信利用役務の提供の場合は、役務の提供を受ける者の本店所在地等により行うこととしています(消法43三)。それ以外の役務の提供の場合の内外判定は、役務の提供が行われた場所が国内にあるかどうかにより行うことを原則とし、役務の提供場所が国内及び国外にわたる場合は、役務の提供を行う者の役務の提供に係る事務所等の所在地により行うことなどとされています(消法43二、消令62)、現実的な役務の提供場所が国内と国外とに区分することができ、かつ、これらの役務の提供に係る対価の額が国内の役務の提供に対応するものと、国外の役務の提供に対応するものに合理的に区分されるものは、その区分により内外判定を行うものと解されます。

今回の広告宣伝特典のうち、ホームページでの協賛企業名の表示、協賛企業のホームページへのリンクは、電気通信利用役務の提供に該当し(消法21八の三)、その内外判定は、当該電気通信利用役務の提供を受ける協賛企業の本店所在地が日本国内であることから、国内取引となります。国際園芸博覧会会場内の日本庭園における協賛企業名の表示の内外判定は、協賛企業名の表示が日本国外で行われることから国外取引となります。

また、協賛企業は、2種類の広告宣伝特典を受けますが、金銭は協賛金として一括して支払うものであり、個々の広告宣伝の対価の額も定められていないことから、協賛企業が、ホームページでの協賛企業名の表示等(国内取引分)と博覧会会場での協賛企業名の表示(国外取引)の対価を合理的に見積って区分することは、実務上できないものです。

こうしたことから、今回の役務の提供の内外判定については、役務の提供を行う実行委員会の事務所の所在地が国内であることから、その所在地により行っても差し支えなく、国内取引に該当すると考えます。

したがって、協賛企業が支出する協賛金は、国内で行われる役務の提供の対価であり、協賛企業の課税仕入れに係る支払対価の額に該当すると考えます。

ロ 物品・サービスによる協賛の費用

物品・サービスによる協賛に係る支出については、給与等を対価とする役務の提供に該当するもの又は消費税が非課税若しくは免税となる資産の譲渡等に係るものを除き、協賛企業の課税仕入れに係る支払対価の額に該当すると考えます。

ハ 寄附協賛の費用

寄附協賛に係る支出については、反対給付のない一方的行為による金銭の贈与に該当することから、協賛企業の課税仕入れに係る支払対価の額に該当しないものと考えます。

[関係する法令条項等]

法人税法第22条 消費税法第2条、第4条、第30条 消費税法施行令第6条

〔回答〕 平成28年6月16日

回答者 東京国税局審理課長

回答内容

標題のことについては、ご照会に係る事実関係を前提とする限り、貴見のとおりで差し支えありません。

ただし、次のことを申し添えます。

- (1) ご照会に係る事実関係が異なる場合又は新たな事実が生じた場合は、この回答内容と異なる課税関係が生ずることがあります。
- (2) この回答内容は東京国税局としての見解であり、事前照会者の申告内容等を拘束するものではありません。



## アンタルヤ

- ◆ トルコ南部の地中海に面する国際的な観光地(人口:約180万人[県域])
- ◆ 外国人観光客数は、年間約1,000万人(世界4位:EXPO2016公式サイトより)
- ◆ 年間晴天日約300日、平均日最高気温約24℃
- ◆ アンタルヤでは、松の木に覆われたトロス(タウラス)山脈が海まで広がって、岩の多い岬とひっそりとした入り江による複雑な海岸線をつくり出している。年間300日の太陽の恵みを受けるこの地方は、日光浴や海水浴、ウィンドサーフィン、登山、洞窟探検などのスポーツのパラダイス。松林、オリーブや柑橘類の果樹園、椰子の木、アボカドやバナナのプランテーションが広がる景観の中に、重要な史跡が点在している。
- ◆ 素晴らしい景観に囲まれたトルコの主要なリゾート地アンタルヤは、木陰を作り出す椰子の並木道と賞を受けたマリーナのある魅力的な町。まるで絵画の様な美しいカレイチ(旧市街)の古い界限では、細く曲がりくねった通りと古い木造の家々が、古代都市の城壁に隣接している。
- ◆ カレイチの一部では花と緑による街並みの再生に取り組んでおり、「Communities in Bloom」においても高い評価を受けている。

(参考資料:トルコ共和国大使館 文化広報参事官室HP等)



## 国際園芸博覧会2016 トルコ・アンタルヤ 日本庭園出展報告書

2016年アンタルヤ国際園芸博覧会日本庭園出展実行委員会

事務局:公益財団法人 都市緑化機構  
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-2-4 田村ビル2F  
Tel.03-5216-7191

発行:平成29年1月